

国際シンポジウム

震災被害への有効な心理支援に向けて

300名
(一般の定員)

●主催 一般社団法人 日本心理臨床学会
●後援 東京大学 救援・復興支援室

— 今、臨床心理学はどのような社会貢献ができるのか —

日時 2011年 10月10日 (月・祝)

会場 東京大学・安田講堂 (同時通訳付き)

参加費	学会員及び学生 3,000円	一般 4,000円
-----	-------------------	--------------

臨床心理士の継続研修ポイントになります。

Program

開会 10:30~11:00

挨拶 鶴 光代 (日本心理臨床学会 理事長)

企画趣旨 下山 晴彦 (日本心理臨床学会 国際交流委員長)

第1部 11:00~12:00

招待講演 心的外傷体験に対して臨床心理学ができること

講師 Gerald Davison
(アメリカ南カリフォルニア大学 心理学教授 老年学研究科研究科長)
世界の代表的な臨床心理学教科書 Abnormal Psychology の著者
アメリカ心理学会の臨床心理学部門の元会長

休憩 12:00~13:00

第2部 13:00~15:00

基調報告 ヨーロッパの危機支援の経験から

1 災害時の危機介入における心理社会的支援の方法

講師 Robert Bering (ドイツCologne大学 心的外傷研究センター所長)
EUの危機支援プログラムEUTOPAの作成責任者

2 子どもと若者のトラウマ治療の理論と実際

講師 William Yule (イギリスLondon大学 精神医学研究所 応用児童心理学部門名誉教授)
子どもを外傷体験から守る財団Children and War Foundation代表

休憩 15:00~15:30

第3部 15:30~17:30

東日本大震災に被災者への支援の発展に向けて

1 文科省における取組みと課題

講師 郷治 知道 (文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課生徒指導室長)

2 厚労省における取組みと課題

講師 福田 祐典 (厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課長)

3 被災地での心理支援の現状と課題

講師 村瀬 嘉代子 (東日本大震災心理支援センター長/日本臨床心理士会会長)

4 登壇者による討論

日本の現状に関して、米國やヨーロッパの経験をどのように活用するのかについての議論

閉会の辞 岡田 康伸 (日本心理臨床学会副理事長)



申込方法

日本心理臨床学会のホームページ (www.ajcp.info/) よりお申込みください。郵便かFAXでもお申込みいただけます。学会事務局まで、以下の事項を記載し、ご連絡ください。

●記載事項…「10/10国際シンポジウム一般参加希望」と明記してください。
必須：氏名、フリガナ、住所
任意：電話、メールアドレス

締切は9月15日(木)、先着順です。
参加いただけることが確定した場合は、振込用紙をお送りしますので、その用紙を使用して、9月26日(月)までにお振り込みください。
振込が確認でき次第、領収書、入場券等を発送します。なお、自己都合による取消の際は、参加費の返金はできません。
※日本心理臨床学会の会員は手続きが異なりますので、学会ホームページをご確認ください。

